

2023年8月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

職場で実施してほしい防災意識・防災対策「災害発生の危険性がある場合等の、自宅待機・帰宅指示の早期対応」が44.2%で最多

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2023/08/01～2023/08/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2023/08/02～2023/09/05（35日間）

調査方法

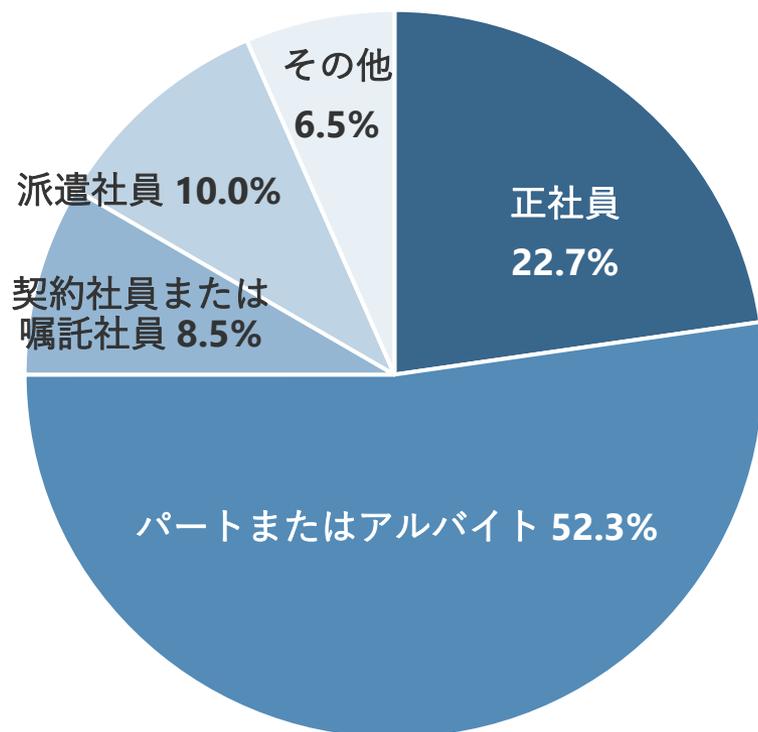
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

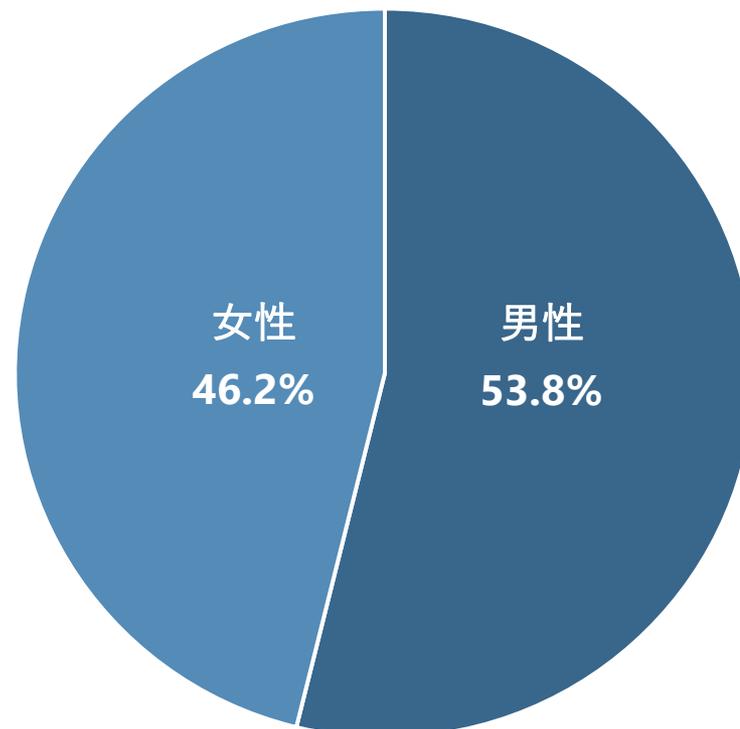
- ▶260件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別

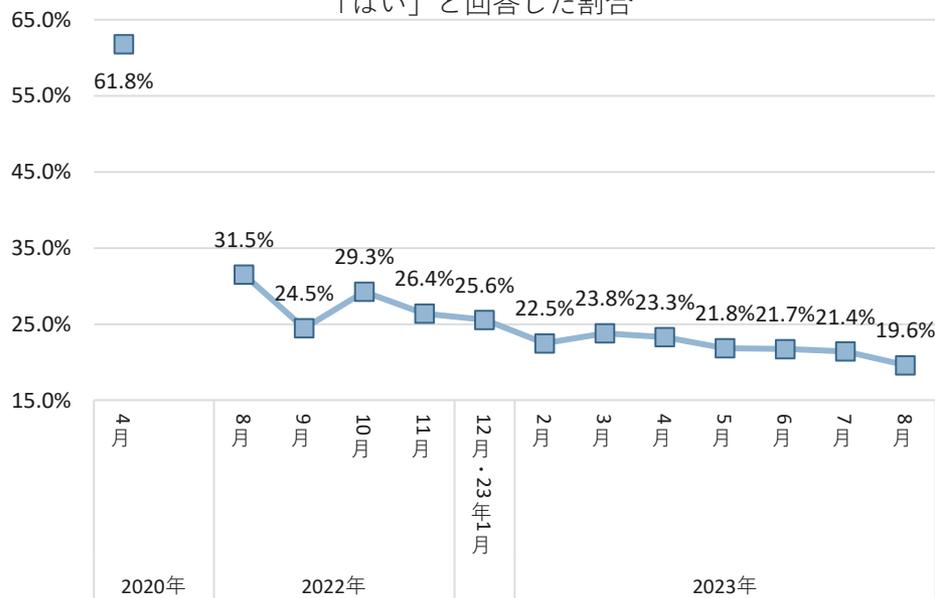


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で19.6%が「はい」と回答し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていた割合は2割を切った。2023年に入ってから、仕事探しへの影響は少しずつ縮小している。

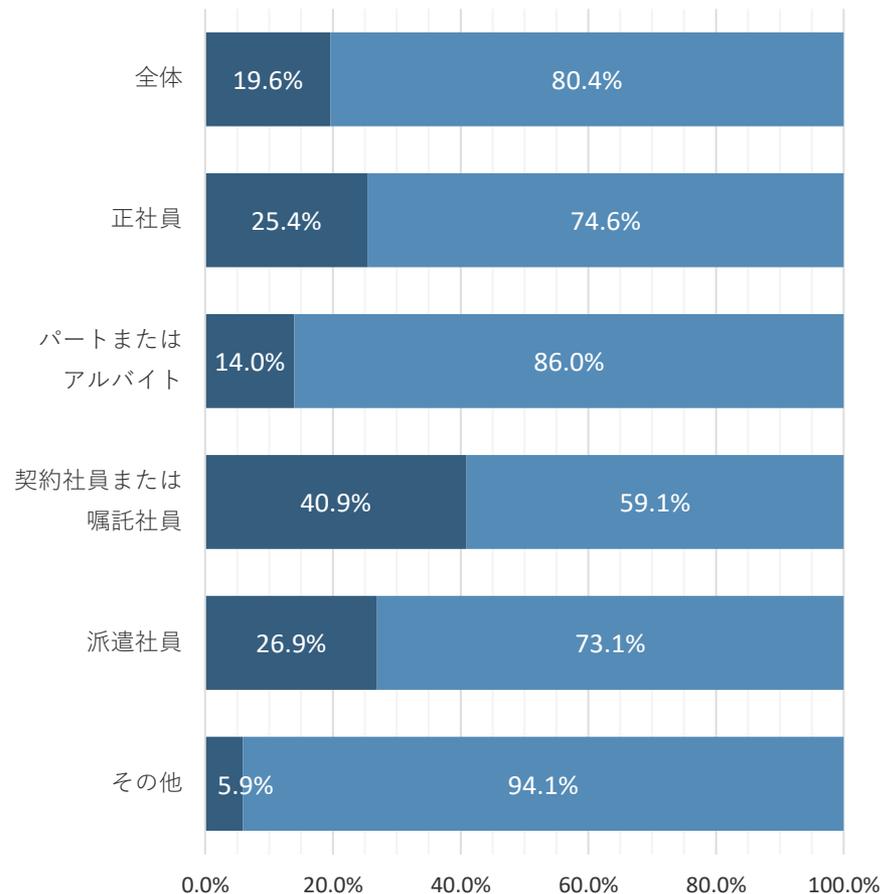
希望雇用形態別に影響の有無をみると、「パート・アルバイト」では14.0%で他の雇用形態希望者よりも低かった。感染症が大流行していたころと比べると、その影響はあまりみられない。

参考 新型コロナウイルス感染症の影響 「はい」と回答した割合



今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ

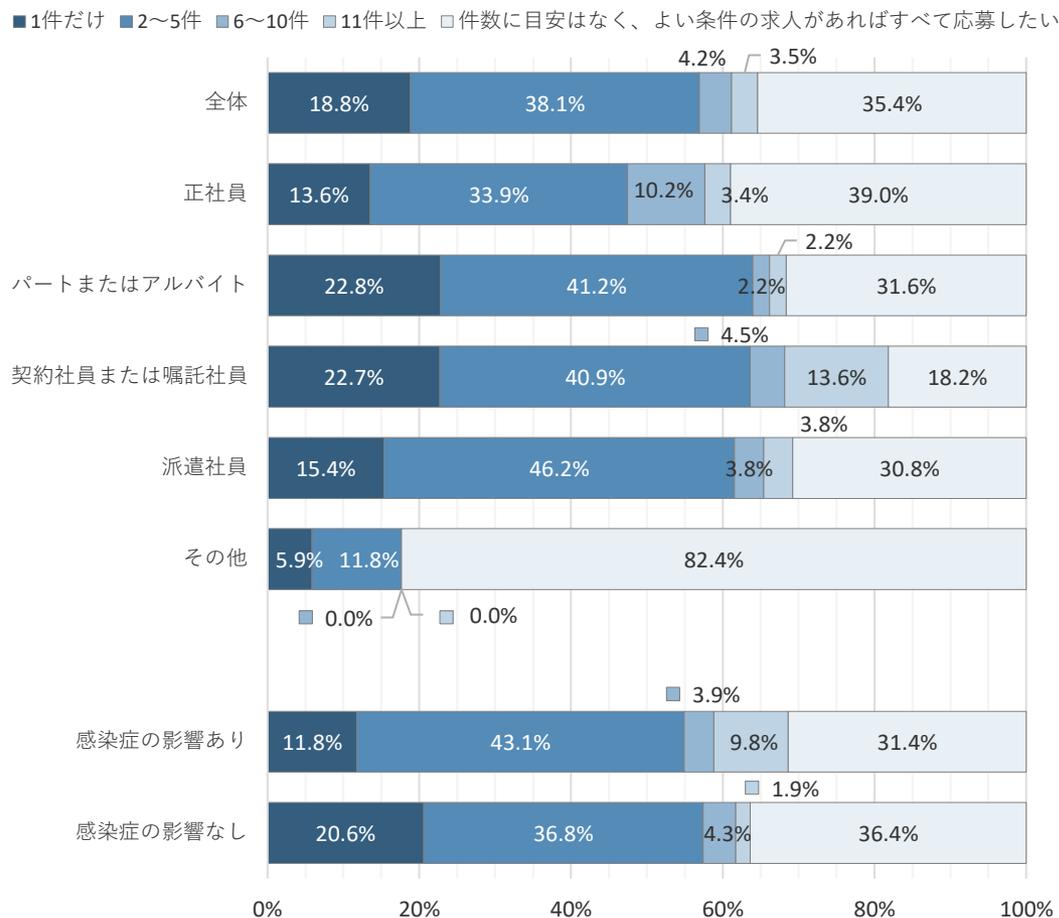


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く38.1%、次いで「件数に目安はなく、良い条件の求人があればすべて応募したい」が35.4%、「1件だけ」が18.8%、「6～10件」が4.2%、「11件以上」が3.5%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割を超えた。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は39.0%となり、パートまたはアルバイト希望者よりも目安を設けていない割合が大きい。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が22.8%、「2～5件」が41.2%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多い。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）別にみると、「感染症の影響あり」の人では「2～5件」が43.1%、「11件以上」が9.8%で、「感染症の影響なし」の人と比べると応募件数の目安を多く設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。

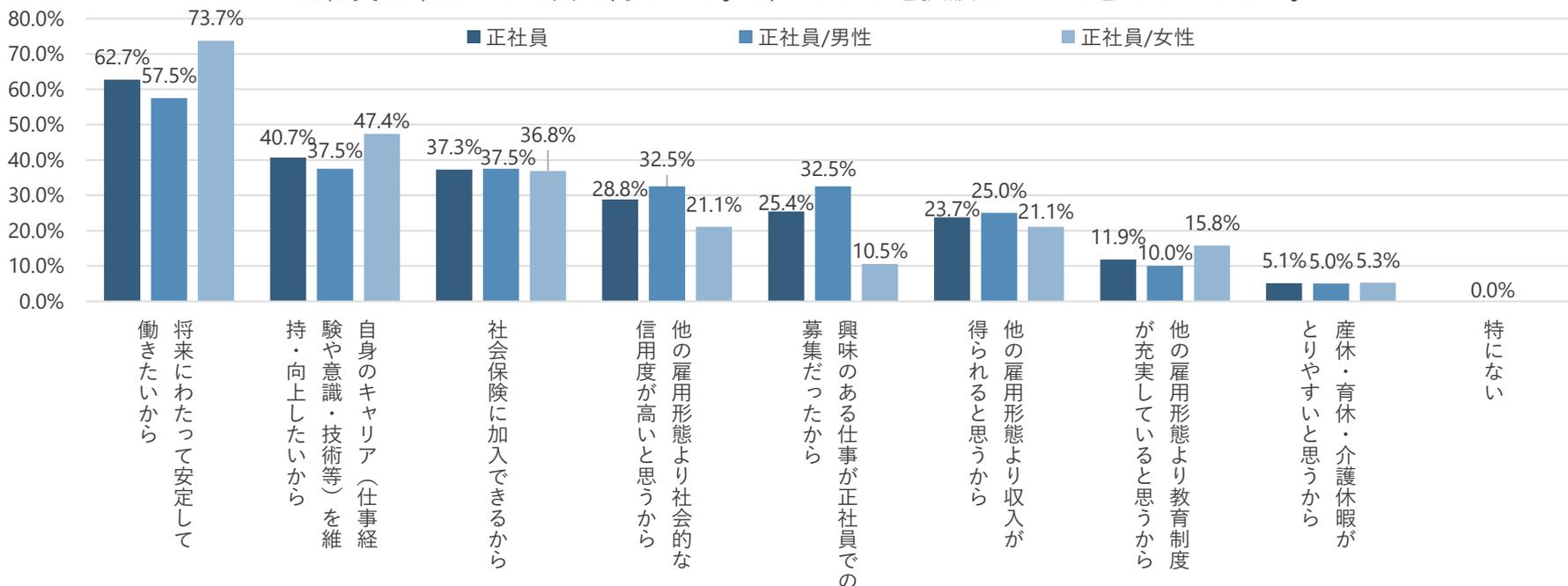


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で62.7%、次いで「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が40.7%、「社会保険に加入できるから」が37.3%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「興味のある仕事が正社員での募集だったから」が22.0pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が11.4pt高くなった。仕事内容に関心のある人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が16.2pt、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が9.9pt、「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」が5.8pt高かった。安定した雇用のために正社員を希望する女性は7割を超えた。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



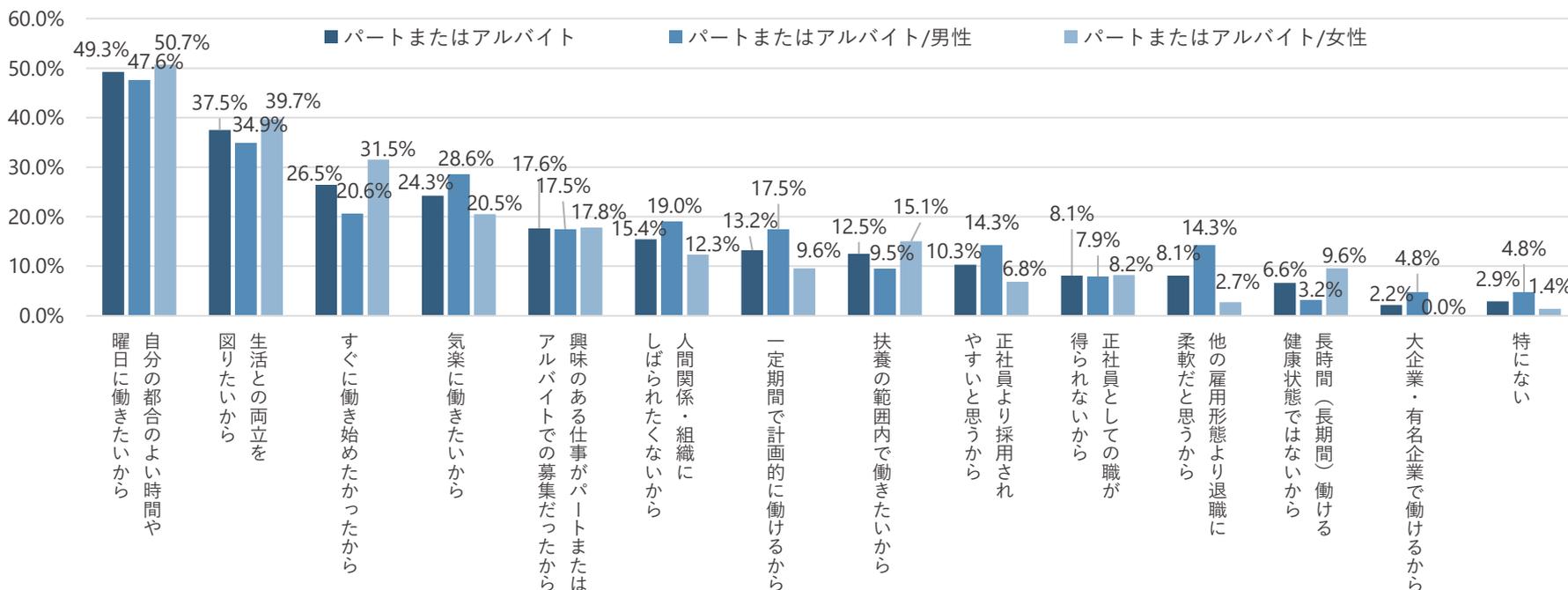
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で49.3%、次いで「生活との両立を図りたいから」が37.5%、「すぐに働き始めたかったから」が26.5%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より退職に柔軟だと思ふから」が11.6pt、「気楽に働きたいから」が8.1pt、「一定期間で計画的に働けるから」が7.9pt高くなった。気兼ねなく働ける環境を希望する人が、パート・アルバイトという雇用形態を選んでいるようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「すぐに働き始めたかったから」が10.9pt、「長時間（長期間）働ける健康状態ではないから」が6.4pt、「扶養の範囲内で働きたいから」が5.6pt高くなった。就業開始が他の雇用形態よりも早いと考える人が多いようだ。また、就労に何らかの制限がある人も一定数いることが伺える。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



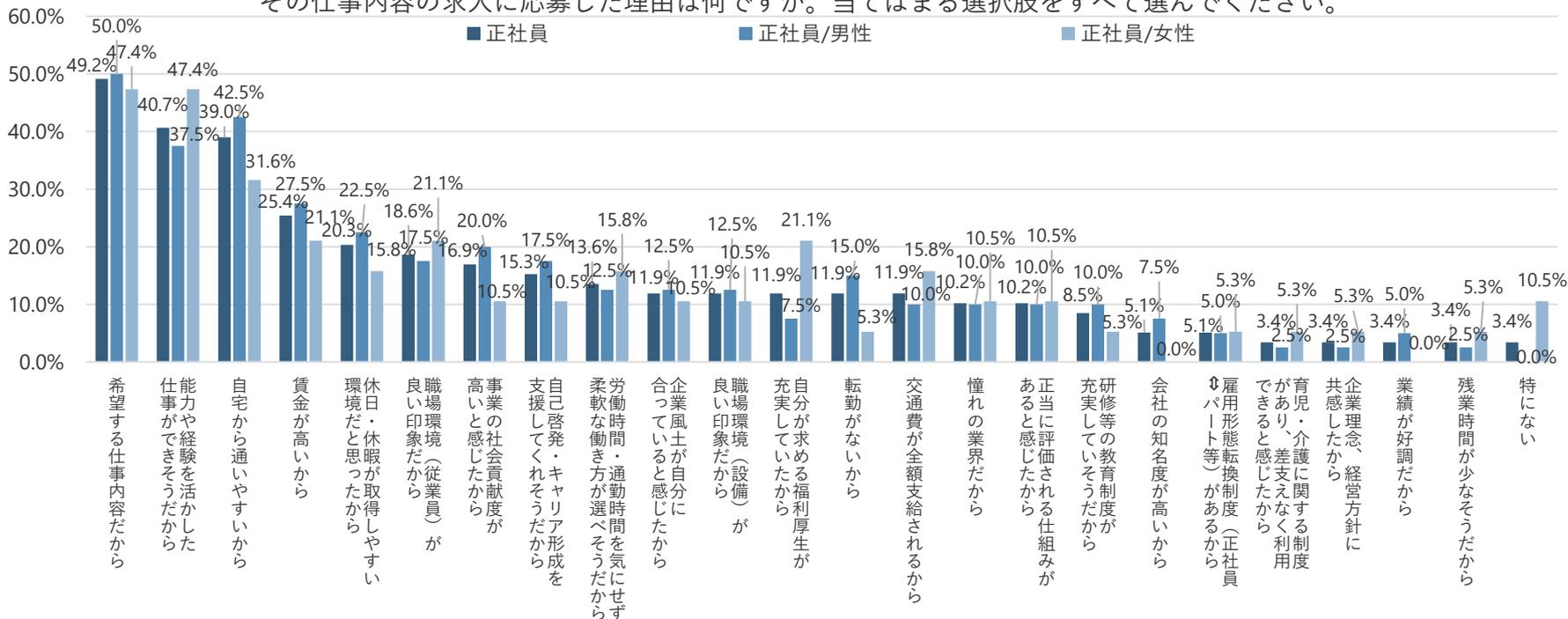
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「希望する仕事内容だから」の49.2%、次いで「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が40.7%、「自宅から通いやすいから」が39.0%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自宅から通いやすいから」が10.9pt、「転勤がないから」が9.7pt、「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が9.5pt高くなった。負担の少ない通勤を優先している人や、社会への影響を体感しやすい仕事に関心がある人が多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自分が求める福利厚生が充実していたから」が13.6pt、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が9.9pt高くなった。自身の経験を活かせる環境と共に、必要と思うサポートが充実している職場に注目して仕事探しをしているようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



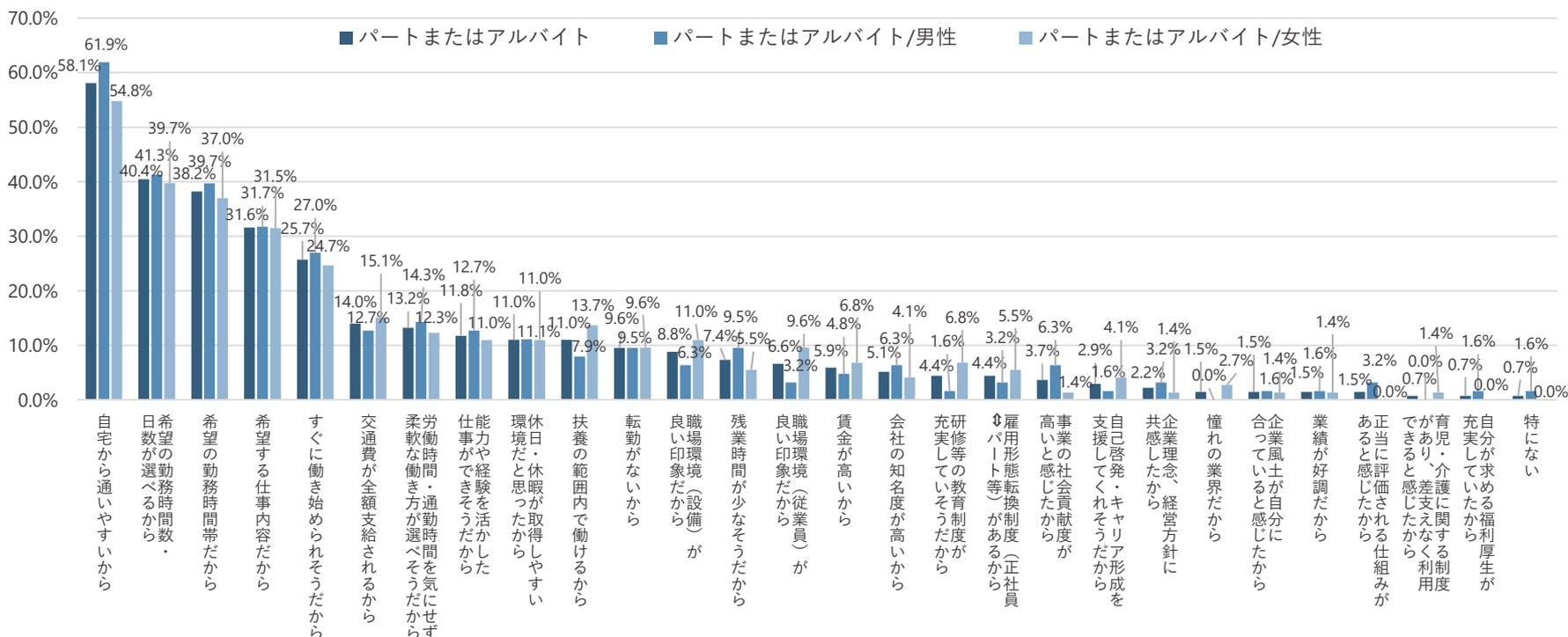
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で58.1%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が40.4%、「希望の勤務時間帯だから」が38.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自宅から通いやすいから」が7.1pt高くなった。6割以上が通いやすい職場を好んで職場を探しているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「職場環境（従業員）が良い印象だから」が6.4pt、「扶養の範囲内で働けるから」が5.8pt、「研修等の教育制度が充実していそうだから」が5.2pt高くなった。扶養の範囲内を希望する割合は毎月男性より高くなる傾向がある。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、職場で実施してほしい、あるいは共有してほしい防災に関する事柄をきいた（複数回答）。最も多かったのは「災害発生の危険性がある場合等の、自宅待機・帰宅指示の早期対応」で44.2%、次いで「災害発生時の行動マニュアルの共有」が38.1%、「防災用品の十分な備蓄」が34.2%となった。「防災対策は特に求めている」と回答した割合は16.5%で、8割以上の人が何らかの対策を求めているようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「非正規雇用希望計」（パートまたはアルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員希望者の計）を希望する人よりも「救急措置や救急救命に関する講習会の実施」に多く意見が集まった（27.1%）。災害時だけでなく、様々な緊急事態に対応できる基礎知識を求めているようだ。一方で「非正規雇用希望計」では「災害発生時の行動マニュアルの共有」を希望する人が多かった（40.2%）。いざというときにどう動けばよいのか、共有することで安心につながるようだ。

男女別にみると、全体的に「女性」のほうが「男性」よりも多くの項目を選択しており、特に「定期的な避難訓練、避難経路の確認」は「男性」と比べると16.0pt高かった。女性は、会社に求める防災意識がより多岐にわたっている。近年、女性の視点を踏まえた防災対策が注目されていることもあり、より意識した対応が求められるようだ。

職場で実施してほしい・共有してほしい防災意識・防災対策は次のうちどれですか（複数回答）

